

市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。
編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介します。「こんなこと知っている!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、お寄せください。

Takahama-city Archive
たかはま
アーカイブ

Vol. 21



本で知る、高浜の昔の暮らし



▲「高浜市誌探訪」と「花筏」(高浜市立図書館蔵)



▲花筏に収録されているインタビュー記事

高浜市立図書館には高浜の歴史や今昔の人々のくらしを知ることができる本を集めた「郷土資料室」があります。今回はそのなかから、おすすめの本を2冊紹介します。

1冊目は『高浜市誌探訪』(昭和60年10月刊)です。市誌や町誌から、「おまん」と「三州瓦」「衣浦大橋」といった高浜に関するキーワードを端的にまとめて紹介している本です。高浜市の歴史を知るガイド本としておすすめです。

2冊目は『花筏』(たかはまの婦人) 昭和のあゆみ』(平成3年受入)です。こちらは高浜市婦人活動推進会議の皆さんが、女性のくらしを中心に高浜の生活をまとめた本です。服装や生活の道具、行事や言葉、わらべうたなど、多岐にわたり、写真を入れたから丁寧に紹介されています。なかでも貴重なのが、当時の女性たちの声を書き残したインタビュー記事です。菊人形師の妻や農業、漁業、窯業、養鶏業を生業とした生活、髪

結いや助産師の仕事など、飾らない生の声に当時のくらしが目に浮かびます。そして本を読んだ後は、図書館2階の郷土資料館へぜひ来場してください。高浜市内で実際に使われていた、昔の生活道具がたくさん展示されています。

高浜市はまもなく、市制50周年を迎えます。この機会にぜひ、高浜の歴史をひもひもとみてみませんか。
(高浜市立図書館S・K)

問合せ先 **いきいき文化スポーツグループ** ☎52-1111(内線330)

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成
「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす生活習慣・学習習慣を皆さんと共有します。

12月
心のこもったあいさつのできる子

- 〈めざす年長児〉げんきよくあいさつをします。
- 〈めざす小6生〉進んで気持ちのよいあいさつや返事をします。
- 〈めざす中3生〉場に応じたあいさつ、言葉づかい、身だしなみを心がけます。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト
いきいき教育センターグループ ☎52-1111(内線311)

ポルトガル語は24・25ページ

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

市公式ホームページでは、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4か国への変換機能を利用できます。

早期配布にご協力ください。